



「ミス日本みどりの大使」とは

公益社団法人国土緑化推進機構Webサイト「みどりの大使」
(<https://www.green.or.jp/promotion/midorino-taishi/entry-1679.html>)

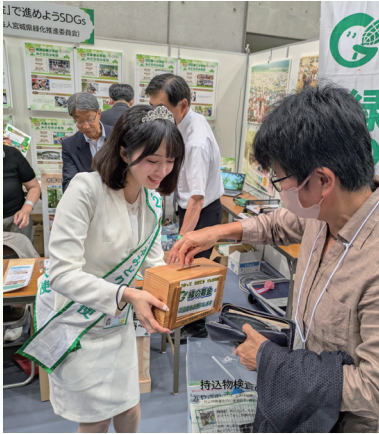
みどりの大使が行く!



2025
ミス日本
みどりの大使
佐塚 ころこ

未来の森を育てる

「第48回全国育樹祭みやぎ2025」に参加し、改めて森を守り育てることの大切さを感じました。植えて終わりではなく、植えた後に「人の手で森を育てていくこと」に焦点が当てられており、秋篠宮皇嗣同妃殿下による枝打ち、施肥などが行われました。私は式典会場にて来場された方々に「緑の募金」への協力を呼びかけました。募



金を通じて、森林整備や環境保全に関心を持ってもらったり木の製品を身近で使用していただくことも、また、「森を育てる」一つの形なのだと思います。式典会場には足を止めて募金して下さる方がたくさんいらつしやり、「緑を未来につなげていく」想いが多くの人の中に確かにあることを実感しました。たくさんの方の小さな行動が森を支えている。このことを改めて感じられた時間でした。森を育てることは自分たちの世代だけでなく、自然と人が互いに長く寄り添っていく継続的な取組であり、それを多くの人と共有できたことがとても嬉しかったです。

最新技術 森を育てる現場を支える

育樹祭記念行事のみやぎ2025 森林・林業・環境機械展示実演会では、最新の技術に触れ、林業の現場が時代とともに大きく進化していることを目の当たりにしました。広い会場には、伐採や集材に使う大型



の機械から、狭い場所でも使いやすい小型タイプまで、多様な林業機械が展示されており、進化した未来の林業を体感しました。実際に動く機械の音や迫力には圧倒されましたが、それ以上に驚いたのは、どの機械も人が動きやすいように工夫されていたことです。操縦室にはエアコンが搭載されていたり、シートの形状や操作レバーの位置には長時間使っても疲れにくい配慮があったりと、作業者の快適さや安全性を大



切にしていることが伝わってきました。特に印象に残った出展は生分解性チェーンオイルです。これまでのチェーンソーではどうしてもオイルが周辺に残ってしまい、森を汚染する1要因になっていたと同じでした。それを改善し、自然へ還るオイルの登場は「森を育てる」という面から無理にならっていると感じました。効率化を進めながらも自然への思いやりを忘れない姿勢に、深い感銘を受けました。

まだまだ林業は「きつい仕事」と認識される方も多いと思いますが、快適な仕事環境が整っているイメージと、自然環境に優しい林業というイメージが広がれば人と自然をつなぐ未来の産業になると感じます。

